

協会だより

第43号

発行：富山県障害者スポーツ協会
富山県富山市下坂野 70-4
TEL (076) 413-2248
FAX (076) 413-2304
URL <http://toyama-sad.jp>
E-mail info@toyama-sad.jp



目次

卓球競技会	1	令和2年度障害者スポーツ活動活性化事業	6
卓球競技会 目指せ全国大会	2	スポーツ教室紹介	7
第1回障がい者スポーツ指導員研修会及び 審判員養成講習会 陸上競技	3	スポーツ教室紹介	8
令和2年度障がい者スポーツ指導員 養成講習会 (初級)	4	元気とやまスポーツ大賞	9
第1回スポーツ教室・クラブ代表者連絡会議	5	富山県障害者スポーツ協会からお知らせ	10
第2回スポーツ教室・クラブ代表者及び 障がい者スポーツ指導員連絡会議・研修会	5	令和3年度 第21回富山県障害者スポーツ大会 出場選手募集	11

第20回 富山県障害者スポーツ大会 卓球競技会

期日:令和2年11月8日(日) 会場:富山県総合体育センター

令和2年11月8日(日)富山県総合体育センター(富山市秋ヶ島)において、選手114名のエントリーのもと、第20回富山県障害者スポーツ大会(卓球競技会)を開催しました。

開会式では、県厚生部障害福祉課 辻井秀幸課長の開会の挨拶、富山県卓球協会 田畑裕明会長の激励の言葉をいただきました。富山県卓球協会レディース連盟 福林弘子会長が、競技上の注意を行いました。



今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、日本卓球協会の「新型コロナウイルス感染症対応のガイドライン」に従い、感染予防策を徹底しての大会となりました。

一般卓球、サウンドテーブルテニスともに、障害区分・男女別にそれぞれトーナメント戦を行い、白熱した戦いが繰り広げられました。

競技役員 の声

富山県卓球協会 レディース連盟会長
福林 弘子さん



富山県卓球協会のレディース部は、引退された澤田広子さんが、「誰もが楽しく卓球ができるように」とレディース連盟を立ち上げられました。私たちは年4回の大会を行い、大会のお手伝いや審判等々の活動をしています。今回行われた卓球競技会では全国大会並みのラリーやサブ、レシーブ等、高度な技術が随所に見られ素晴らしいかったです。また、競技終了後も礼儀正しく非常に感動させられました。コロナ禍のなか、少ない練習時間でも真面目に練習することが結果につながることを感じました。これからも頑張っていきたいと思います。

身体女子は欠席者が多く、試合数が少なくなりました。その中で、レディース連盟からラージボール卓球で全日本の大会で優勝経験のある川中さんが対戦相手を買って出てくださいました。対戦した選手の上田さんは胸を借りて好試合を展開しました。



運営役員 の声

富山県障がい者スポーツ指導員
日南田 一昌さん

第20回 富山県障害者スポーツ大会 (卓球競技会)に参加して

水泳・陸上・フライングディスクの競技会が中止となる中「三密」を回避する競技会となった。

規模を縮小し、開・閉会式はスタンドで参加。試合前の消毒の徹底。大きな声を出しての応援の禁止等これまでと様変わりした競技会だった。その中でも選手の皆さんが、イキキと笑顔でプレーし、心から卓球を楽しむ姿を見ることができて良かった。

種目	一般卓球				サウンドテーブルテニス	
	身体男子	身体女子	知的男子	知的女子	視覚男子	視覚女子
1位	蛸川優也 (滑川市)	蛸川恵史子 (滑川市)	前田結汰 (富山高等)	杉本実里 (富山市)	林 大志 (富山市)	徳市和美 (高岡市)
2位	伊藤恭兵 (滑川市)	徳山珠利 (富山聴覚)	稲波日向 (富山聴覚)	新田 夢 (富山聴覚)	綿 洗希 (富山聴覚)	鏡川原優香 (富山聴覚)
3位	堀田英雄 (上市町)	上田アリス (富山聴覚)	加藤博史 (射水市)	南山由美子 (富山市)	中西美雄 (射水市)	久々湊みのる (射水市)
4位	須貝三男 (射水市)	該当者なし	福島貴大 (SON富山)	澤田彩花 (高岡高等)	徳添誠次 (射水市)	高島ヒサ子 (富山市)

富山聴覚：富山聴覚総合支援学校/富山視覚：富山視覚総合支援学校/富山高等：富山高等支援学校/高岡高等：高岡高等支援学校

目指せ 全国大会

《卓球競技会 熱戦の様子》



身体男子



身体女子



知的男子



知的女子



STT男子



STT女子

優勝者の声

身体男子1位 蛸川 優也さん

「卓球競技会を終えて」

新型コロナウイルスで大変なときに、協会をはじめスタッフ等のおかげで競技会が行われ、大変うれしく思います。今年は富士に引越してきた仲間との決勝で例年と違うカードになりましたが、そこで優勝したことで改めて卓球に対する情熱が湧き上がってきました。新型コロナウイルスが落ち着いてきたら、仲間たちといっしょに練習し、他の大会でも良い成績がとれるように頑張りたいです。新型コロナウイルスが一刻も早く収束することを願います。



知的男子1位 前田 純汰さん

「優勝して思ったこと」

僕はこの大会に3回出場したので、三回連続優勝できたことに驚いています。来年行われる全国大会に向けて、フォアハンドドライブアップの技術を向上させられるように頑張りたいと思います。



STT男子1位 林 大志さん

「STTで優勝して」

今回、卓球競技会のSTTで優勝することができて大変嬉しく思います。今年は、新型コロナウイルスの影響で大会が中止になり、練習の成果を発揮する機会がないかと残念に思っていたのですが、この大会が行われることを聞かとても嬉しかったです。また、練習不足と会場が違ったことから首の関節こえ方がいつもと違い、力を発揮できなかった心配でした。試合も3ゲームマッチになって体力の消耗が抑えられて楽になり、全部の試合に勝つことができてよかったです。今後にも練習に励み、さらに上を目指していきたいです。



身体女子1位 蛸川 恵史子さん

「いつもと違う競技会」

新型コロナウイルス感染対策がなされているとはいえ、世情のせいで例年より参加者が少なく感じました。また、大会は午前中・トーナメントのみという進行に変更されており、そのため今大会では1試合しかできず、たった1試合で優勝した事実はあまり喜ばしくありませんでした。今回は、これまで通りの進行（午前はリーグ戦、午後はトーナメント戦）で沢山試合ができるよう、新型コロナウイルスによる不運な日々が落ち着くことを願います。



知的女子1位 杉本 実里さん

「逆転勝ち」

2020年11月8日、富士県総合体育センターで県大会が行われました。今年は新型コロナウイルス関係でルールがいろいろと変わっていました。決勝戦では1セット目を落とすとしても悔しかったので気持ちを奮い立たせ、2セット・3セットを連取して優勝することができました。ここまで色々なアドバイスを頂いた福林さんや山下さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



STT女子1位 徳市 和美さん

「卓球競技会に参加して」

私は、11月8日に行われた「富士県障害者スポーツ大会 卓球競技会 STT」で接戦の末、辛くも優勝することができました。コロナ禍での開催でしたが、試合に集中して、日頃の練習の成果を十分に発揮したのでとても嬉しく思います。これからもより一層練習に励み、今後につなげたいと思います。



第1回 障がい者スポーツ指導員研修会及び審判養成講習会 陸上競技

期日：令和2年8月2日（日） 会場：富山県総合体育センター

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で障害者スポーツ関連の大会や各種研修会の多くが中止となりました。このようなコロナ禍の中でも、コロナの感染予防対策を取りながら、効率よく行事の開催ができないかと検討を重ねた結果、今年度は、障がい者スポーツ指導員研修会と障害者スポーツ審判員養成講習会とをマッチングさせて実施することとなりました。

陸上競技の審判資格取得と障がい者スポーツ指導員を対象とした研修会は全国でも例がなく、おそらく初めての試みです。陸上競技の審判としての一般的な知識と障害者陸上の専門的な知識を理解していただく機会とし、次年度の障害者スポーツ大会「陸上競技会」での実務経験を積むことで、日本陸上競技連盟のB級審判資格を取得できる講習会としました。



講義Ⅰ 総論

【日本陸上競技連盟競技規則】

講師：夏野 義一 先生
富山陸上競技協会審判部長

コロナ感染対策で、飛沫感染防止のためのシールドを設置しての講義となりました。

一般の陸上競技大会での話題に触れながら、丁寧に講義が行われました。競走競技におけるレーンの幅や走り幅跳びの踏切の位置など、知っているようで知らないことなどをわかりやすく説明していただきました。



講義Ⅱ 概論

【障害者スポーツ大会 「陸上競技会」競技規則】

講師：北林 直哉 先生
日本パラ陸上競技連盟/競技運営委員会 副委員長

「Zoom」を利用してのリモート配信で講義が行われ、大阪と富山が近い感じがしました。種目ごとの障害に応じたルールをわかりやすく説明されました。ネット環境の調整など、新しい取り組みを行うことで、主催者側としての今後の課題も見つかりました。北林先生からは、障がい者スポーツ指導員は、障害を持った人たちに積極的に社会的参加を促すという目的をもって指導して欲しいと助言をいただきました。



参加者の 感想

審判の部署もたくさんあり、規則も毎年改訂されるなどルールも細かく、生半可な知識や技術では審判ができませんと学んだ。

審判員の高齢化が進むと同時に、審判員の養成も難しくなっている。競技種目は異なるが、スポーツの共通の課題だと感じた。

講義をリモート配信で試みたのがよかった。今後の会議や研修で大いに活用できると思った。

競技者、審判、補助員が連携しながら、健常者も障害のある人も楽しんで競技をやっていく意識を持つことができた。受講した内容を盲段の活動に生かしたいと思った。

障害者スポーツを行う上で、障害区分や運営の行い方、必要なサポートなどたくさん理解しなくてはならないことを改めて知ることができた。次年度の実技では、自分の目で確認しながら取り組んでいきたい。

令和2年度 障がい者スポーツ指導員養成講習会（初級）

今年度の受講者は28名。富山県総合体育センター（富山市秋ヶ島）、太閤山ランドファミリースポーツプラザ（射水市黒河）を会場に、11月29日（日）、12月6日（日）、12日（土）、13日（日）の4日間の日程で開催しました。特に今年は、コロナ禍での開催ということで、消毒の徹底・パーテーションの設置・1部ビデオでの講義など、感染予防を徹底して行いました。

1日目

令和2年11月29日（日）

【内容】

「各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫」
「各障がいの理解」（視覚）
「各障がいの理解」（聴覚）
「各障がいの理解」（肢体）

【講師（敬称略）】

泉 敬郎
高島 豊
小中栄一
岩澤智宏

富山県総合体育センター



2日目

令和2年12月6日（日）

【内容】

「各地域の障がい者スポーツ推進の取り組み」
「障がいのある人との交流」
※フットサル教室の中で参加者との活動を通じた交流

【講師（敬称略）】

貫島英二
森田千恵子他

太閤山ランドファミリースポーツプラザ



3日目

令和2年12月12日（土）

【内容】

「スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質」
「障がい者スポーツ関する諸施策」
「障がい者スポーツの意義と理念」
「各障がいの理解」（精神）

【講師（敬称略）】

神野賢治
福島瑛里
奥田睦子
伊盛賢司

富山県総合体育センター



4日目

令和2年12月13日（日）

【内容】

「安全管理」
「コミュニケーションスキルの基礎」
「全国障害者スポーツ大会の概要」
「各障がいの理解」（知的）

【講師（敬称略）】

金澤芳光
福島洋樹
恒川 修
東 真盛

富山県総合体育センター



受講者からは、「障害のある人のことをよく知り、その人が必要としていることをサポートする大切さがあった。」「できないことに目を向けるのではなく、今できることや、チャレンジする姿勢に目を向けることが大事だと分かった。」など、たくさんの学びの感想を聞くことができました。

また、「障害がありながらも前向きにスポーツに取り組んでいる方々が、少しでも喜びや感動をもてるように活動していきたい。」という力強い抱負も聞くことができ、今後の富山県の障害者スポーツの発展に大きな期待ももてる講習会となりました。

第1回 スポーツ教室・クラブ代表者連絡会議

期日：令和2年5月10日（日） 会場：富山県障害者スポーツ協会

令和2年度第1回のスポーツ教室・クラブ代表者連絡会議は、新型コロナウイルス感染症防止のため、密を避け時間を短縮し、4つのグループに分けてスポーツ協会事務局にて連絡会議を行いました。アルコール消毒や待機場所・説明時間の工夫など感染予防対策を徹底して行いました。今年度、ハンドバイククラブの教室への新設が認められ、合わせて19の教室を対象に障害者スポーツ協会の事業説明や会計処理についての説明を行いました。また、教室の運営に関しては、障がい者スポーツ指導員との積極的な連携により、教室運営を進めていく方針を伝えました。

第2回 スポーツ教室・クラブ代表者 及び 障がい者スポーツ指導員連絡会議・研修会

期日：令和3年2月28日（日） 会場：富山県総合体育センター

主催：富山県、富山県障害者スポーツ協会

参加者：富山県障がい者スポーツ指導員 及び 富山県障害者スポーツ教室代表者 49名

研修会：講演 9：30～11：00

演題 「逆境に強くなるメンタルトレーニング」

講師 人財教育家・メンタルコーチ 飯山 眺朗 先生

連絡会議（教室代表者のみ）：11：15～11：45

- ・クラブの代表者・スポーツ指導員の連絡会議は書面での報告としました。
- ・教室代表者へは、年度末の報告書の提出や次年度に向けた教室運営上の注意についての連絡を行いました。

【たくさんのワクワク感にあふれた研修会】

今回の講師は、オリンピック選手や高校野球チームのメンタルトレーニングで成果をあげられる人財教育家・メンタルコーチの飯山眺朗先生。ご講演では、脳の構造に基づくトレーニング方法について、ご自身の具体的な指導経験も交えながら分かりやすく教えていただきました。「プラスの言葉をどんどん使しましょう。」「プラスの動作や表情、態度に変えましょう」「自分のためだけではなく、誰かのためにを大事にしましょう。」など、先生の明るく元気な話し方、ワクワクする内容に引き込まれ、あっという間の90分でした。最後にまとめられた、「逆境に強いメンタルをつくる」ために大切なこと「ワクワクのイメージ」「プラスの言葉と動作」「実現に向けた心の支え」を日々の生活や、障害者スポーツの指導や支援に大いに生かし、本県の障害者スポーツをこれまで以上に盛り上げていきたいと感じました。



受講者の声

・スポーツにおけるパフォーマンスはメンタル（感情）によって左右されるのは、自分の競技経験からも理解していた。どのような脳の働きによって感情に働きかけているのか、パフォーマンスを促す言葉や態度が理解できた。（障がい者スポーツ指導員から）

・ついつい、足元や目の前ばかりを見てしまいがちですが、拝聴後には気持ちが温かくなり、前を向いていきたい気持ちになる事が出来ました。更にこの気持ちを持続しながら、周りの人にも感じてもらえる様にしていきたいと感じました。その為にも、高い理想を持ち、明るく行動できる様に日々心がけていきたいと想います。ありがとうございました。（スポーツ教室代表者から）

令和2年度 障害者スポーツ活動活性化事業

障害者スポーツ活動活性化事業は、障害のある人が障害のない人と共にスポーツ活動を行い、互いの交流を図り、スポーツの楽しさを体験したり、スポーツを行う機会の少ない重度の障害者に体を動かすことの楽しさを体験してもらうことを目的としています。

今年度申請のあった4つの団体の事業を報告します。

スポランふらっと杯 ～ビヨンドコロナ～

特定非営利活動法人 ふらっと

11月9日(月) 救急薬品市民交流プラザ

コロナ禍で生活形態が変化していく中、今年はカターレの選手や学校など6つの会場がZoomを利用したのオンライン開催となりました。赤ちゃんから90代のお年寄り、授業を通じての学生さんも含めて総勢114名が参加しました。音楽に合わせたダンスや障害者スポーツを模した運動で体を動かし、ピエロのパット君によるジャグリングも楽しみました。遠くにながらでも、互いの様子や笑顔を共有し充実した時間を過ごすことができました。



富山県障がい者ハンドバイク体験会

富山県ハンドバイク教室

11月15日(日) 富山市富岩運河環水公園

ハンドバイクの魅力は車いすよりスピードを出すことができ行動範囲も広がるところです。また、ハンドルを手で回すことで前進し、通常の自転車と同じ感覚で利用できます。車いすの利用者が普段使うことのできない筋肉を使うことができ、障害によって陥りやすい運動不足の解消と爽快感とともに前向きな気持ちになります。今回の体験会は、天候にも恵まれ参加者の笑顔と子供たちの新たな挑戦を見守る保護者の優しいまなざしに心が温まりました。



Paraスポーツをみんなで楽しもう

～空手・車椅子バスケットボール～

Para スポーツにゆうぜん (工房あおの丘)

8月29日(土)入善総合体育館 / 9月19日(土)宇奈月体育館

今年度は新型コロナウイルス感染症の対策に十分配慮しながらの活動でした。8月29日には、土曜開所日として他サービス利用者の方々や空手教室を開催し、久しぶりに利用者と一緒に身体を動かし楽しく過ごすことができました。また、9月19日には、車いすバスケットボールの体験教室を開催しました。椅子の乗り方や使い方を教わった後、試合をしました。互いのチームから声援が飛び交い笑顔で終わることができました。これからも一人一人の充実した生活のためにいろいろな活動を進めていきたいと思います。



地域共生社会実現事業 ～フライングディスク～

「たれでも参加かんたんスポーツ交流会」

小矢部市身体障害者協会

12月13日(日) おやべ市民体育館

老若男女・障害のある人もない人も誰でも参加して、かんたんスポーツを通じて触れ合う事により、助け合いや協力で地域共生社会実現の環境ができることを目的として実施しました。フライングディスク競技の審判員や経験者は小矢部市内に少なく市外の審判員や講師の派遣を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止対策で参加が困難となりました。そのため、小矢部市の競技参加者におやべ型審判実施方法を指導し「おやべ型審判員」を養成し、障害者と健常者が合同参加で楽しく交流ができました。



令和2年度 スポーツ教室紹介

卓球教室

中学生から高齢の身体・知的・聴覚に障害のある方々が、毎回20名程度参加しています。コーチや補助の方々の指導や支援を通してスポーツの楽しさや自己成長を実感できるように取り組んでいます。前半の基礎練習では10分ごとに相手を入れ替え、様々な人と練習する機会を作っています。後半の自由練習では初心者の繰り返し練習や、各級の指導を受けられるよう卓球マシンも使っています。



アーチェリー教室



小学生からお年寄りまで、障害の有無にかかわらず自分の体格と腕力にあった道具で楽しむ競技、アーチェリー。肢体、聴覚障害の方が対象に、基礎や弓具の手入れ、そして大会形式に合った練習や強化も図っている。弓を弾き射る狙い矢を放つ、アーチェリー競技。青空にナイスショット。

障害者スキー教室

小学生以上。障害者スキーは、富山県内のスキー場、立山山麓スキー場、イオックスアローサスキー場、たいらスキー場、タカンボスキー場の会場にて教室を開催しています。座位、立位、知的、視覚等の障害に応じたスキーレッスンを行います。また、それぞれの障害に合った用具などをアドバイスし、参加者には楽しいスキー体験をしてほしいと思います。



車椅子バスケットボール教室

車椅子バスケットボールは、いろいろな障害を持った人たちが皆で協力しながら車椅子に乗ってバスケットボールをするとても素敵なスポーツです。当クラブは高校生から72歳まで幅広いメンバーがあり、二分首椎や両脚指傷、片足切断などのさまざまな障害を持った選手で楽しく活動を行っています。全国大会ベスト4をチーム目標にして、毎週木曜日と日曜日に練習していますので興味のある方はぜひ一度見学に来てください。



フットサル教室

様々な障害のある明るく元気な15人が参加し、太閤山ランドファミリースポーツプラザで活動しています。パス、ドリブルの基本練習に加え、チーム内での試合も行っています。また毎年夏休みに、県内特別支援学校の生徒と全国大会で大活躍の富山第一高校サッカー部との合同練習も行い、たくさんの人たちとの交流活動も続いています。



サウンドテーブルテニス教室

富山県障害者スポーツ協会サウンドテーブルテニス教室です。中学生以上が対象で、現在部員は25名、富山県卓球協会レディーズ部の皆様とスポーツ指導員のご協力ご指導を受けて活動しています。毎年行われている県協会の大会や北信越stt大会、全国障害者スポーツ大会を目指して毎月の卓球教室を行っています。メンバーの育和と健康作り、失われた視力を補ってやる感覚の訓練にも力を注いでいます。



水泳教室

年間に10回、富山市民プールで活動しています。全国障害者スポーツ大会や春の県大会出場を目指す人、25mは泳げる人、少し泳げる人、泳げる様になりたい人等、それぞれの泳力に合わせて2グループに分かれ、水中で自由に身体を動かす楽しさや体感しながら、それぞれに合ったレベルアップを目指します。随時新しい仲間を募集中心!



ボウリング教室

中学生以上が対象で、障害を問いません。初めからうまい方はいません。初心者の方でも年齢関係なく楽しむことを前提にボウリングのマネー等、実技指導を障がい者のレベルに応じて行います。知的障がいの方には「全国障害者スポーツ大会」出場を目標にしている方もいます。本教室の活動は全国障害者スポーツ大会出場への参考にします。



ツインバスケットボール教室

年齢制限が無く、誰でも参加できます。バスケットボールが体育館に常備してあるため、参加された方には実際に練習を楽しく体験してもらえます。ツインバスケットボールは低いゴールを利用するので、小さいお子さんでもシュートが可能です。当教室は、障害者と健常者の垣根を超えて交流し合える場を目標に開催しています。一緒に楽しんでみませんか。



車椅子テニス教室

テニス未経験でも大丈夫です。初心者でも丁寧に指導します。健康維持目的から試合で勝つテニスを目指すプレーヤーまで。皆、目標に向かって練習しています。



車椅子テニスは健常者と一緒に向いコートでゲームを楽しむことも魅力の一つです。

フライングディスク教室

フライングディスクは、「いつでも、どこでも、誰でも」気軽に楽しめるスポーツです。富山・高岡・砺波・新川の県内4地区において各3回ずつ実施しており、基本的なディスクの持ち方、スローイング法からレベルに応じて、アキュラシー（正確さ）ディスタンス（距離）の競技技術の指導も行っています。参加には、事前の申し込みは必要ありません。老若男女問わず、障害のある人もない人も、また、支援者やご家族の方も一緒に参加してディスクを通して友達を広げましょう。



フットベースボール教室

中学生以上対象です。富山県総合運動公園屋内グラウンドや芝生広場で活動しています。障害者スポーツ指導員や特別支援学校の教員が優しく指導します。サッカーボールを「取る」「捕る」「投げる」を中心にとした基礎練習や、ミニゲームに取り組んでいます。教室参加者を中心に選抜チームを編成し、全国大会出場を目指すチームもあります。参加者大募集中です。



聴覚陸上競技教室

聴覚陸上教室は、年間12回を通して各種目の講師の指導を受けられます。場所は五福陸上競技場、練習時間は午前10時から12時までです。「全国と県の障害者スポーツ大会」の出場を目指し基礎から練習を行います。気軽に見学ができますので、教室代表（橘）までFAXでご連絡ください。



障害者登山教室

対象は障害を問いませんが、現在は視覚障害者が過半数を占めます。2名の介助者とともにサポートロープ等を活用した軽登山を多く実施しています。また、オリムピック種目となるスポーツクライミングにも取り組んでいます。参加者の技術や体力に応じ丁寧に指導します。気軽に参加でき、仲間との交流や自然を楽しむことができます。



ハンドバイク教室

対象は、小学生高学年以上で男女を問いません。ハンドバイクは、ハンドルを車椅子に取り付けて使う手でこぐ自転車です。ハンドルを手で回すことで前進し、通常の自転車と同じ感覚で利用できます。ハンドバイクの魅力は、車椅子より風を切って走るスピードを体感でき、行動範囲も広がるところです。誰でも気軽に参加できます。私たちと一緒にサイクリングしましょう。



ソフトボール教室

中学生以上が対象です。射水市にある奈良の江公園が教室の会場です。月1～2回の基礎練習を中心に、「全国障害者スポーツ大会」や、福井県で行われる「ウィングカップ」等、大会の参加を目指して教室を開催しています。競技経験は問いません。初心者の方でも、安全に安心して参加できるように個人の能力に合わせて指導いたします。



障がい者空手教室

集団行動のできる方であれば男女を問わずどなたでも参加できます。空手武道の伝統的礼法から始まり基本技、形、相手へと進みます。何よりも「障害者との共生」を大切に指導しています。「全日本障がい者空手道競技大会」で活躍している方も数名汗を流しています。



聴覚野球教室

参加者は高校生以上で、初心者でも歓迎します。聴覚障害者が集って野球をする教室です。大会や練習試合に向けて楽しく練習しています。興味ある方は教室代表（館）までFAXでご連絡ください。



卓球バレー教室

障害の有無や年齢を問いません。令和2年度はコロナ禍の影響で7月より教室を開催しています。参加者の状況を見てチーム編成し、ゲームを通じてルールを覚えて競技に慣れていくようにしています。チームレベルも上げれば県内及び近隣のチームとの交流戦も企画しています。又指導者養成講座も実施しています。コロナ禍終息時には積極的に普及活動を実施したいと考えています。



私たちもスポーツクラブとして活動しています

ゲートボール（肢体）／グランドソフトボール（視覚）
聴覚ゲートボール／ポッチャ／車椅子マラソン
タンDEMサイクル（視覚）／視覚障害者マラソン

富山県障害者スポーツ協会では、障害があってもスポーツに親しみたい方のために19の教室を支援しています。

元気とやまスポーツ大賞 受賞

元気とやまスポーツ大賞とは、県民のスポーツに対する意欲の向上と多様なスポーツ活動の推進のため、県民のスポーツ活動の一層の励みになるように、スポーツボランティアや地域・職場等においてスポーツの普及・振興に尽力した団体や個人を顕える賞です。今年度から、障害者スポーツの分野で活動している選手や障がい者スポーツ指導員など、積極的に障害者スポーツの活動に取り組んでいる方々も賞の対象となりました。

令和2年度「元気とやまスポーツ大賞贈呈式」は、令和3年2月16日（火）富山県民会館にて行われました。「元気とやまスポーツ賞」を授与された方々の中から、指導者部門において富山県障がい者スポーツ指導員の生駒さち子さんが、また、活動者部門においては黒部市水泳協会の角井俊生さんの二人が「元気とやまスポーツ大賞」に選ばれました。当日は、蔵堀祐一富山県政策監から賞が授与され、受賞者を代表して、生駒さち子さんが謝辞を述べられました。この度の、栄える大賞を受賞されたお二人から言葉をいただきました。

元気とやまスポーツ大賞

スポーツ指導者部門 生駒 さち子 さん

「受賞者代表謝辞」

受賞者を代表して、一言お礼の言葉を申し上げます。
このたびは、私たち26個人に対して「元気とやまスポーツ賞」および「元気とやまスポーツ大賞」を賜り、身に余る光栄です。私たちが続けてきたスポーツ活動を、高く評価いただき、感謝申し上げます。これまで、私たちは、県をはじめ関係団体や地域の多くの方々からご協力やご支援をいただき、生きがいをもってスポーツ活動に取り組んでまいりました。

私たちは、できる限りたくさんの人に障がい者スポーツを知っていただき体験して、障害者の頑張っている姿を見ていただきたいと思います。年齢や障害の有無にかかわらず、様々な人がスポーツを通じて社会に参加し支え合う「スポーツでつくる優しい共生社会」を目指してまいりたいと思っております。

私たちは、これまでの多くの方々への支えに感謝申し上げるとともに、今回のお賞を励みとして、今後さらなる向上を目指し、努力を続けてまいりたいと思っております。今後、スポーツ活動を通じて、富山県のスポーツ振興と地域の発展のために一層努力をすることをお誓い申し上げまして、お礼の言葉といたします。本日はありがとうございます。ありがとうございました。



元気とやまスポーツ大賞

スポーツ活動者部門 角井 俊生 さん

「元気とやまスポーツ大賞を受賞して」

この度は、名誉ある賞をいただきまして、ありがとうございます。表彰を受けたのは私一人の力によるものではありません。黒部市水泳協会、富山県障害者スポーツ協会、職場の皆さんのおかげだと思っております。

毎日、職場の皆さんのおかげで練習できる環境を与えていただき、練習ではコーチに親身に技術面を指導していただいております。また、富山県障害者スポーツ協会からは全国大会出場への支援をしていただき、大会に出場することができています。日ごろから支えてくださっていただいている皆さんには大変感謝しています。

今後はこの賞を励みにして練習に集中し、大会でベストを尽くして皆さんに恩返ししていきたいと思っております。



富山県障害者スポーツ協会からお知らせ

全国障害者スポーツ大会の紹介

3年ぶりの開催となる
第21回全国障害者スポーツ大会
(三重とこわか大会)を目指しませんか!



令和3年10月23日(土)～25日(月)

全国障害者スポーツ大会は、障害のある人たちが、競技や交流を通じて、スポーツの楽しさやお互いの理解を深めたり、障害者の社会参加を推進することを目的として開催される国内最大の障害者スポーツの祭典です。

昨年の茨城大会は台風の影響で中止になり、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で鹿児島大会の開催が見送られ、3年後の令和5年に延期開催されることになりました。

このことから、今後の開催県は次のような順番になります。三重県(令和3年) 栃木県(令和4年) 鹿児島県(令和5年)

全国大会につながる令和3年度第21回富山県障害者スポーツ大会の日程が決定しました!

(大会の詳細は11ページにあります)

富山県障害者スポーツ協会HPのご案内

近年スマートフォンでのHP閲覧が多くなってきています。そのため協会では、時代の流れに対応した新しいHPの作成に取り掛かり、今まで以上に見やすく、活用しやすいHPへとリニューアルいたしました。これを機に多くの皆さんにご活用いただければ幸いです。

富山県障害者スポーツ協会

トップページ 協会概要 各種様式 お問い合わせ 協会事業紹介 福障害者スポーツ大会 全国障害者スポーツ大会
 スポーツ教室・クラブ関係 協会だより 全国大会・国際大会の成績 協会へのアクセス 協会事業予定 リンク集
 スポーツ用具の貸出 連絡先 TEL:076-413-2248 FAX:076-413-2304 メールアドレス: info@toyama-sad.jp

富山県障がい者スポーツ指導者協議会から

市町村や施設等の主催する、障害のある方のスポーツ大会や練習会などをサポートします。

富山県障害者スポーツ大会の運営に協力するとともに、富山県障害者スポーツ教室・クラブに支援・協力しています。

講習会予定及び県外派遣(研修)

【富山県障害者スポーツ協会事業】

○障がい者スポーツ指導員養成講習会(初級)

期日 令和3年11月27日(土)、28日(日)、12月5日(日)、11日(土)の4日間

会場 富山県総合体育センター など

○障害者スポーツ審判員養成講習会(県障害者スポーツ大会陸上競技会) 令和3年5月23日(日)

○障がい者スポーツ指導員連絡会議・研修会 令和4年2月12日(土)

【日本障がい者スポーツ協会事業】

○中級障がい者スポーツ指導員養成講習会

○上級障がい者スポーツ指導員養成講習会

○障がい者スポーツ指導者全国研修会

○全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会

○障がい者スポーツ医養成講習会

令和3年度 第21回富山県障害者スポーツ大会

出場選手募集!



富山県障害者スポーツ大会は、障害者がスポーツを通じて、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起するとともに、県民が障害者についての関心と理解を深めることを目的として毎年開催しています。大会では、水泳・陸上・フライングディスク・卓球の4競技会が行われます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、県大会の(水泳、陸上、フライングディスク)が中止となってしまいましたが、唯一、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底して、卓球競技会を開催することができました。

この4競技会での記録を参考に、全国障害者スポーツ大会富山県代表候補選手が選考されます。自己の記録の挑戦やさまざまな交流の機会としてたくさんの方々の参加をお待ちしています。

令和3年度 第21回富山県障害者スポーツ大会の各競技会を次の日程で開催します。

競技会	日時	場所	参加申込期限
水泳競技会	4月18日 (9:30～12:30)	富山市東富山温水プール (富山市米田65-4)	3月2日火
陸上競技会	5月23日 (9:00～15:30)	富山県総合運動公園 陸上競技場 (富山市南中田368)	4月13日火
フライングディスク 競技会	9月19日 (9:00～15:30)	富山県総合運動公園 屋内グラウンド 及びファミリー広場 (富山市南中田368)	8月3日火
卓球競技会	11月7日 (9:30～15:30)	富山県総合体育センター (富山市秋葉183)	9月24日火

出場選手は、次のすべての条件を満たす者

参加
資格

- ①令和3年4月1日現在、13歳以上の身体障害者手帳又は療育手帳を有する者。あるいは療育手帳の取得の対象に準ずる障害のある者。(ただし、フライングディスク競技会、卓球競技会については12歳の生徒も可とする。)
②県内に居住する者。(ただし、県外居住者であっても県内の学校に通学している者及び施設に入所・通所している者を含む。)

参加
申込

- ①居住する市町村の障害者福祉主管課を通じて、富山県障害者スポーツ協会に申し込む。
②特別支援学校の生徒及び施設に入所・通所している者は、学校又は施設を通じて富山県障害者スポーツ協会に申し込む。(個人申込は不可)

お知
らせ

- ①水泳競技会と陸上競技会の記録は、第21回全国障害者スポーツ大会(三重とこわか大会)、フライングディスク競技会と卓球競技会の記録は、第22回全国障害者スポーツ大会(いちごー会とちぎ大会)の県代表選手選考の参考となります。
②詳細については、市町村・特別支援学校・施設等に配付する各競技会の開催要項をご覧ください。

<編集後記>

はじめに、富山県障害者スポーツ協会「協会だより第43号」の発行にあたり原稿や画像をご提供いただいた皆様に感謝を申し上げます。例年は年2回の発行のところ内容を凝縮して1回のみ発行といたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの事業や大会が中止や縮小になりましたが、そのような中、障害者スポーツ大会卓球競技会は、関係機関と幾度も協議を重ね、ようやく開催にこぎつけたことも貴重な経験となりました。これもひとえに県卓球協会レディーズ連盟の皆様や県障がい者スポーツ指導員のご協力のお蔭であると改めて感謝申し上げます。

先の見えない悲しい状況下ではありましたが、障害者スポーツに関わるたくさんの方々の方々の熱意がより強く感じられた年でもありました。まだまだ、新型コロナウイルス感染症の終息は見えない状況ですが、当たり前の日常を取り戻すことを何もしないで待つだけでなく、今できる事に前向きに取り組んでいく事が、あらゆる状況に対応できる力として今後生きてくると信じております。

今後とも本県の障害者スポーツの普及・振興にご理解ご協力をお願い申し上げます。